

かめやま教育通信

第48回



市内の小・中学校は、 「魅力ある学校づくり」に取り組んでいます！

◆「魅力ある学校」とは？

学校は、子どもたちが楽しく通うことができ、安心して学べる場であるべきです。しかし、いじめの発生件数や不登校児童・生徒数の増加など、学校における課題は深刻化しています。



このような状況の中、いじめに苦しんだり、学校に通えなくなったりするなど、安心して学ぶことができる環境が確保されていない子どもたちが存在することも事実です。すべての子どもたちにとって「魅力ある学校」にするためには、教職員が行う「居場所づくり」と児童・生徒が主体となる「絆づくり」の両方の取り組みが大切です。

居場所づくり

学級や学校を、どの児童・生徒にも落ちつける場所にするために、教職員が安全・安心な学校づくりを行う。

絆づくり

児童・生徒が主体的に取り組む活動を通して、共に課題を乗り越えたり、より絆を深めたりする。

学校における具体的な取り組み

- 子どもたちが、楽しみながらお互いを知ることができる場を企画する。
- 学級や学年単位で体験活動やレクリエーションなどを行い、子どもたちの関係づくりができる場を設定する。
- からかいや仲間外れなどの兆候がないか、学校生活全体で子どもたちの様子を見守る。
- いじめや暴力行為につながるからかいやふざけ等には、毅然とした態度で対応する。
- 子どもたちが安心感を持てるよう、相談できる人や場所、方法を明確に知らせる。



- 行事、授業、係活動、部活動など、学校生活のさまざまな場面で、「友達の良いところ探し」を位置付ける。
- 児童・生徒の学校生活に関わる課題や要望について、生徒会(児童会)の活動を支援する。そして、子どもたちが主体的に実践した成果を実感できる機会をつくる。
- 1年生を迎える会や運動会、文化祭など、上級生や生徒会(児童会)が企画・運営する機会をつくる。
- 授業中に「友達の考えから学んだこと」を意識させた活動を設定する。



すべての児童・生徒にとって、楽しく通うことができ、安心して学べる学校、そんな魅力ある学校づくりを進めています！

問合先 教育委員会事務局学校教育課教育研究グループ(☎84-5077)